

令和8年1月28日
国土交通省関東地方整備局
首都国道事務所

工事発注手続きについて

～「R7国道298号葛飾大橋補修その3工事」の発注手続きを行います～

首都国道事務所が発注する「R7国道298号葛飾大橋補修その3工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R7国道298号葛飾大橋補修その3工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
2. 難工事指定
3. 間接工事費実績変更方式
4. 余裕期間制度（任意着手方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、千葉市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 首都国道事務所

電話：047-362-4111（代表） メール：ktr-syuto-koho@mlit.go.jp

副所長（技術） 島倉（しまくら） （内線：204）

管理課長 松本（まつもと） （内線：431）

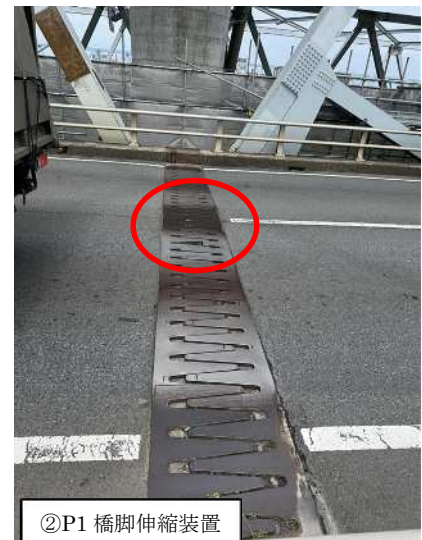
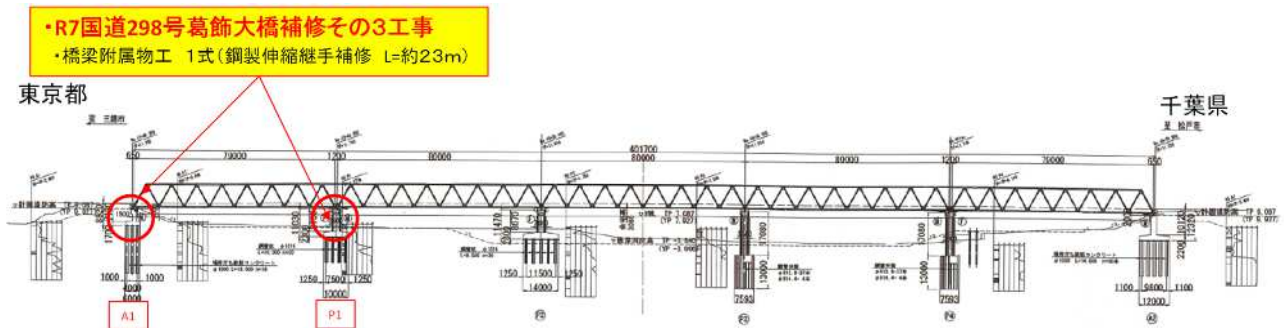
《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 7 国道 2 9 8 号葛飾大橋補修その 3 工事
- (2) 工事場所：東京都葛飾区東金町 7 丁目地先
- (3) 工 期：工事の始期から 3 2 4 日間
(但し、令和 8 年 5 月 1 2 日(工事着手期限)までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式 (総合評価落札方式) 企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容(概要)：橋梁附属物工(伸縮装置補修 約 2 3 m)
仮設工 1 式

■工事概要図



※地理院地図を加工して使用



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 難工事指定

本工事は、交通量の多い国道298号上での作業となり、交通規制を行いながら伸縮継手の補修を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

3. 間接工事費実績変更方式

○実績により変更を行う工種

・ 共通仮設費（率分）のうち、「安全費」

○実績により変更を行う理由

工事箇所は、橋梁上を規制しながらの狭小な箇所です。交通量が多い現道上の工事であり、また、人口密集地域であることや、複雑な道路構造であることから、工事区域内全般の安全上の監視、連絡等や、保安燈等安全施設類に要する費用が多大となることが想定されます。

以上により、「安全費」について、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、間接工事費実績変更方式を試行します。

4. 余裕期間制度（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、工事着手期限（令和8年5月12日）の間で、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付	： 令和	8 年	1 月 2 8 日	(水)
○技術資料等の提出期限	： 令和	8 年	2 月 6 日	(金)
○入札書・工事費内訳書の提出期限	： 令和	8 年	3 月 9 日	(月)
○開札日	： 令和	8 年	3 月 1 2 日	(木)

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

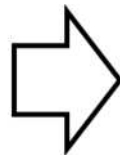
公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)



工事参加希望の意思確認・技術資料の提出

(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11.5点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は企業における防災に係る取組
姿勢と施工実績等+賃上げの実施
に関する評価+WLB関連企業の評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

防災に係る取組姿勢と
施工実績等を評価